

平成28年度 事務事業評価シート

<b>事務事業名</b>		旧東京音楽学校奏楽堂改修				所管	文化産業観光部 文化振興課	
<b>事務事業の概要</b>	行政計画	事業NO.	51	計画事業名	旧東京音楽学校奏楽堂の保全			
	長期総合計画体系	[基本目標] I-3. 文化が息づく豊かな生活の創出					事業の開始・終了年度	
		[小 柱] (1)文化の継承と発展					[事業開始]	平成24年度
		[施策] ①地域文化の保存と継承					[終了予定]	平成30年度
	根拠法令等	要綱	[法令等名]	重文 旧東京音楽学校奏楽堂修理委員会設置要綱				
	事業対象	区民及び一般						
	事業目的	重要文化財である奏楽堂を今後も「生きた文化財」として活用するために保存活用工事を行い、奏楽堂の文化的価値を保存し後世へ継承していく。						
	事業内容	平成24年度 耐震診断調査及び現況調査 平成25～26年度 保存活用計画及び工事基本計画の策定 平成27年度 引越し等工事事前準備及び保存活用工事実施(建築工事) 平成28年度 保存活用工事実施(建築工事、設備工事) 平成29～30年度 保存活用工事実施(建築工事、設備工事、環境整備工事)及び再開館準備						
委託の有無	一部委託	委託内容	・保存活用工事設計監理委託 ・パイプオルガン解体搬出委託 ・奏楽堂製本図面の電子化業務委託					
補助金の有無	国・都							
<b>事務事業の実績</b>	種 別	指標の名称	(単位)	目標値 (29年度)	25年度	26年度	27年度	
	活動指標	保存活用工事(建築)出来高率	%	100	-	-	1.0	
					計画策定	計画策定	保存活用工事	
	成果指標							
	決算額 (単位:千円)				2,155	33,617	13,535	
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)			4,261	7,651	7,619	
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			2,027	33,377	11,182	
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			128	240	2,354	
		総経費			6,416	41,268	21,155	
	財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			0	0	0	
その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			1,611	3,736	4,572			
一般財源(区負担額)			4,805	37,532	16,583			
前回評価から改善した事項	保存活用計画及び工事基本計画に基づき、保存活用工事が計画的に着工できるよう、パイプオルガンの解体・搬出及び引越し作業を効率的に行った。							
<b>評価の視点</b>	評価	評価の理由						
	必要性	4	奏楽堂は経年劣化し十分な耐震性能を満たしておらず、今後も「生きた文化財」として活用するには保存活用工事が必要である。区立の文化施設であることから本事業を区が直接実施する必要がある。					
	効率性	3	本事業は、平成26年度までに策定した保存活用計画と工事基本計画に基づいて工事を進めており、また、国、都からの補助金を活用しながら効率的に実施している。					
	手段の適切性	4	重要文化財の文化的価値を維持していくため、保存活用計画及び工事基本計画に基づき事業を適切に実施している。					
	目的達成度	3	パイプオルガンの解体搬出や引越し等工事事前準備を滞りなく実施し、計画通り保存活用工事に着工した。					
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)					評価結果	今後の方向性	維持 拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了	
奏楽堂の文化的価値を後世へ継承していくために、計画通り平成28年2月に保存活用工事に着工した。今後は平成30年度の再開館に向け引き続き計画的に工事を進めていく。								